

## 回復期リハビリテーション病棟における実績

令和8年4月

### I. 退棟患者数(令和8年1～3月)

①回復期リハビリテーション病棟からの退棟患者数	41	名
② ①のうち回復期リハビリテーションを要する状態の患者数	41	名

③	②状態患者の内訳	患者数	割合
一	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態又は手術後2か月以内	13	31.7%
二	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後等2か月以内	27	65.9%
三	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後2か月以内	0	0.0%
四	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後1か月以内	1	2.4%
五	股関節又は膝関節の置換術後1か月以内	0	0.0%

### II. 実績指数(前月までの6ヶ月間)各年度4月、7月、10月、1月に算出

④実績指数(⑥/⑦)	54.3	点
⑤実績指数の計算対象とした患者	66	名
⑥ ⑤の患者退棟時のFIM得点から入棟時のFIM得点を控除した総和	1,945	点
⑦ ⑤の各患者の入棟から退棟までの日数を患者の入棟時の状態に応じた回復期リハビリテーション病棟入院料の算定日数上限で除した総和	35.8	

$$\text{実績指数} = \frac{\text{⑥ FIM運動項目の得点 退棟時} - \text{入棟時 (対象患者の合計)}}{\text{⑦ 存棟日数} \div \text{入棟時の状態での算定日数上限 (対象患者の合計)}}$$